

## 【同じ釜の飯を食う】

令和5年4月24日

1年生は3日間の研修合宿を終えて、入学してから何か一つ乗り越えたのではないのでしょうか。集団行動やカッター訓練、規則正しい生活など、よく頑張りました。

“同じ釜の飯を食う”という言葉がありますが、他人同士が生活の中で苦楽をともにするという意味では、まさに研修合宿そのものですね。私や学年の先生方も皆さんと同じ釜の飯を食いました。これから卒業するまで様々な苦楽があると思いますが、“同じ釜の飯を食う”仲間が



いるからこそ乗り越えられることは沢山あります。学習にしる、部活動にしる、辛いことがあったらこの研修合宿を思い出して助け合いながら皆で成長していきましょう。

2, 3年生は始業式での校長式辞を思い出してください。キーワードは“粘り強く、根気よく”でした。覚えていますか？サリバン先生とヘレン・ケラーの話でしたよ。ヘレン・ケラーが言葉を発するまでの4年間の長きに渡る2人の努力が、いかに尊いものであるかよく考えてみてください。ヘレン・ケラーの人生において最も重要な出来事でした。皆さんが抱いている“夢”や“希望”は頑張れば“形”として現れます。自分にとって重要だと思うことを具体的な目標にして、“粘り強く、根気よく”取り組んでみてください。必ず何らかの成果が得られます。

折角なのでもう一つ、対面式での挨拶にも触れておきましょう。何でも復習が大事です。先輩として、後輩としてどのように振る舞って欲しいと言いましたか？“先輩は態度や行動で後輩の見本になる”、“後輩は先輩の背中を見て良いところを真似する”でした。言葉によるコミュニケーションはもちろん大事ですが、態度や行動で示すことは勝るとも劣らぬほど大事です。これを実践することで、お互いに成長でき、学校全体が様々な部分で Level up! できるのです。先輩、後輩の良い関係を築いてください。